



過去の地震の教訓を活かして災害に強い沼田町にしよう！

沼田町は増毛山地東縁断層帯に属し、昭和61年11月には沼田町を震源地とする直下型地震では最大震度5を観測し、甚大な被害が発生しました。更には平成7年5月にも直下型地震が発生するなど、活断層として今も活動を続けています。

地震はいつ起こるかわかりません。ブラックアウトや、交通網の寸断などが発生すれば、より大きな被害になることが想定されます。

地震をなくすことはできませんが、私たちの努力によって災害による被害を減らすこと、「減災」は可能です。日頃からの備えと対策で災害に強い町にしましょう。

地震への備えと火災対策について



《備え》

- 家具は壁に固定するなど**転倒防止対策**をする
- 冬期は屋根からの落雪で避難路が塞がれる可能性があるため、**自宅周辺の定期的な除雪をし、避難口を2箇所以上確保する**
- 防災用品として**貴重品、防寒用品、食品、飲料水、日用品などを用意する**

《火災対策》

- 揺れがおさまってから**暖房器具やガスコンロの火を消す**
(可能な限り耐震自動消火装置付を使用する)
- 電気火災防止のため、**避難時はブレーカーを落とす** (可能な限り感電ブレーカーを設置する)



これまで発生した地震の教訓として、最も大きな課題は交通網の寸断による食料品や飲料水の到着遅れです。

一般的にライフラインの復旧や支援物資の到着までに「**最低3日**」を要するとされており、災害食などの非常持出(備蓄)品の準備が不可欠です。

「**ローリングストック法**」を活用して災害に備えよう。

《ローリングストック法とは》

普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つ方法です。

ポイント

- ・ 費用、時間の面で普段の買い物の範囲でできる
- ・ 買い置きのスペースを少し増やすだけで済む
- ・ 賞味期限切れを防ぐ



沼田町
防火標語

住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。
『火の用心 「後で」と「今」で 変わる未来』

